

3.11.1 連携研究推進室

室長 内山 和則 ほか8名

共同研究や研究者交流による産学官連携の強化

■概要

連携研究推進室は、企業、大学、公的研究機関等との共同研究や、研究者の派遣、受入等の研究者交流を推進し、産学官連携の強化に貢献している。

1. 企業、大学、公的研究機関等との共同研究の推進

NICTは、通常のコミュニケーションに加え、NICTが共同研究者から研究費用の提供を受ける「資金受入型共同研究」等を推進している。連携研究推進室では、研究部署からの相談対応、相手機関との交渉、契約書ひな形の作成、契約締結マニュアルの充実等、契約締結支援業務を実施している。

また、共同研究の事前準備等の段階で、NICTと相手機関との間で重要な研究・技術情報を開示する場合、情報の漏えい等を防ぐためにあらかじめ締結する「秘密保持に関する契約」について、契約締結のための手続きの案内、契約書ひな形の作成、契約案文作成支援等、契約締結支援業務を実施している。

2. 研究者の受入、派遣等の外部との研究者交流の推進

NICTは、大学等との情報通信分野における相互協力を推進するため、共同研究や研究者交流等幅広い分野にわたる相互協力協定を締結している。また、連携大学院制度に基づく大学院等との教育に関する協定を締結し、大学院生等が研究経験を得る機会の確保やNICTの研究者による研究指導を行うなど、学界との研究交流の推進を図っている。さらに、研究開発人材の育成を推進するため、研究者、研修員を受け入れている。併せてNICT職員への指導・助言のために研究者を招へいしている。

これらの業務を支援するため、手続きの案内、各種受入書類のひな形作成等を実施している。

■平成29年度の成果

1. 企業、大学、公的研究機関等との共同研究の推進

(1) 共同研究

平成29年度は510件の共同研究を実施した（前年度からの継続案件を含む）。このうち、平成29年度に新た

表1 平成29年度に締結した共同研究の契約件数

	共同研究	資金受入型共同研究
国内	142件	25件
海外	12件	0件
計	154件	25件

表2 秘密保持契約件数

国内	109件
海外	7件
計	116件

に国内142件、海外12件の計154件の契約締結を行った（表1）。

また、「秘密保持に関する契約」について、国内109件、海外7件の計116件の契約締結を行った（表2）。

(2) 資金受入型共同研究

相手機関とNICTが共通の研究課題を設定し、分担・協力して研究を行う共同研究において、NICTの分担する研究の費用の一部について相手機関に負担いただき、共同研究の加速を目指すもので、平成29年度は、42課題について資金受入型共同研究を実施した（前年度からの継続案件を含む）。

(3) 大学との連携

東北大学とNICTとの連携・協力に関する協定に基づき、連携・協力をより一層深めるため、双方の研究ポテンシャルを掛け合わせるにより、新たな共同研究テーマを掘り起こすためのフィージビリティスタディを支援する「東北大学-NICTマッチング研究支援事業」を実施、採択された共同研究10課題を実施（図1）するとともに、研究及び協力の分野における相互協力を円滑かつ効率的に実施するための連絡会を開催し、今後の交流の在り方について意見交換を行った。

また、早稲田大学との間でも「早稲田大学-NICTマッチング研究支援事業」を平成30年度から開始することで合意し、平成29年3月に開催した審査会で、次年度実施の4課題を採択した（図2）。



図1 東北大学－NICTマッチング研究支援事業報告会
(平成30年3月14日)



図2 早稲田大学－NICTマッチング研究支援事業審査会
(平成30年3月29日)

2. 研究者の受入、派遣等の外部との研究者交流の推進

(1) 大学等との相互協力協定

NICTは、相手機関との協力による研究開発の推進と我が国の情報通信の発展に寄与することを目的として、14の大学等の外部機関と、情報通信分野の連携推進に関する協定を締結している。

(2) 連携大学院制度

連携大学院制度は、国や民間の研究機関と大学が協定等を締結し、研究機関の研究者が当該大学院の教育に参画する制度で、NICTでは、これまで18の大学院等と協定を締結している。平成29年度は協定を締結している大学院から51名の大学院生を受け入れ、研究経験を得る機会を確保するとともに、NICTの研究者延べ36名を

表3 研究者、研修員受入数

	国内	海外	計
招へい専門員	48名	0名	48名
協力研究員	471名	9名	480名
研修員	91名	10名	101名

講師として大学院へ派遣することにより、学界との研究交流を推進した。

(3) 研究者の交流

NICTの職員への指導・助言等を目的とする招へい専門員48名、NICTの研究をより効率的に推進するための協力研究員480名及びNICTの研究者から研究指導を受ける研修員101名を受け入れ、研究者交流を推進した(表3)。